

市政報告 葉風

Vol.23

平成18年(2006年)4月
発行 母谷たつのりを育てる会
編集 岡田 孝

<http://www.motani.jp>



謹啓

南からやって来るはずの桜前線に昨年あたりからこれまでの常識を覆すような気象状況が発生しています。

それは満開の桜を前に花見を楽しむ関東地方の様子テレビに映し出されても広島では開花宣言後、戻り寒波や春台風などの影響で満開が大幅に遅れたという状況に表れています。

今年は今年初からライブドアの証券取引法違反や粉飾決算といった事件が幹部の逮捕にまで発



【広島県天然記念物 神原の枝垂れ桜】

展し、その後、昨年の衆議院総選挙に関連した永田寿康議員による偽メール問題は国会を大混乱に陥れたばかりでなく民主党の前原誠司代表をはじめ執行部が総退陣するという事態を招きました。

これは国民の政治に対する信頼と国会の権威を大きく傷つけるという誠に残念な結果となりましたが、小沢新執行部は早急に国民の信頼を回復し自民党と2大政党の中で緊張ある政治を国民の前に示すことが重要であります。

スポーツでは冬季五輪のトリノ大会で予想を遥かに下回る成績となりましたが女子フィギュアスケートの荒川静香選手が見事金メダルを獲得し、二躍国民的ヒーローに躍り出ました。イナバウアーは採点の評価に反映されないと言われながらも「スケートの優雅さと自分らしさを表現したい」との決断は天晴れと言っほかないのであります。

プロ野球のシーズン開幕前にした第1回ワールドベースボールクラシック(WBC)では王監督率いる日本が見事初代王者に輝きました。日本は1次、2次リーグで惜敗し、米国戦では球審が判定を覆すという前代未聞のアクシデントに直面しましたが、まさかと言えぬ米国の2次リーグ敗退を受けて決勝トーナメントに進出したしました。準決勝ではこれまで苦しめられていた韓国に快勝した後、決勝ではアマチュア

球界最高峰のキューバと対戦し、イチロー選手をはじめチーム全体が驚くべき技術力、精神力を発揮し、終盤粘るキューバを10対6で突き放し栄光の座を掴みました。監督、選手が日の丸を背負い一丸となつて戦う姿に国民からは力強い声援と惜しみない拍手が送られたことは大変印象的でした。

さて、平成18年第2回広島市議会定例会は2月16日から3月28日まで41日間の日程で開催され、2月補正予算では全会計でマイナス5億1千608万2千円が示されましたが、平成18年度当初予算では一般会計予算5,381億6,990万9千円(対前年比0.9%増)、特別会計では4,407億775万6千円(前年比4%増)と企業会計を合わせた1兆1,572億5,402万7千円(対前年比0.8%増)が提案されました。

現在、国内景気は緩やかな回復基調とは言え、まだまだ楽観できる状況ではないと考えておりますが、日本銀行は5年間続けたゼロ金利政策、いわゆる量的規制緩和の解除を決定し既に実行に移していることから、市場金利の変動が我々の生活にどのような影響を与えるのか懸念されています。

また、広島市では土地の地価下落は固定資産税全体で対前年比5%減、その他都市計画税等でも2.2%の減が見込まれる中、当初予算案を膨張させることは極めて危険であり、財政健全化に向けた取り組みに対し慎重さが不十分と言わざるを得ないのであります。地方自治法の改正により公的施設の管理運営を民間事業者に行わせることができる「指定管理者制度」が導入されたことはコスト削減という面で効果が期待できるもののサービスの低下が心配されています。さらに内部管理経費の削減、事務事業の見直しではゴミの収集体制を民間の2.3倍というコストを費やして直営で実施していることにも表れているように到底十分とは言えない内容となっております。

紙屋町地下街の「シャレオ」を運営する広島地下街開発(株)は平成17年度中間決算で減損会計の適用を受け約64億円の債務超過に陥りました。こうした事態は市民ニーズに合わない店舗構成

や有効利用されない地下道部分など大小様々な要因が指摘されておりますが、最大の問題はアストラムラインを運行・経営する広島高速交通(株)の社長と同一人物が同社の社長を兼務しているという点であり、両社とも片手間でごなせる様な経営状況ではないのであります。

このような人事を行った秋葉市長の責任は重大であり、その結果として借入金ツケを先送りする今日の状況を引き起こしています。

さらに今定例会でも3件の不祥事が連続して発生し、その全てで逮捕者が出るという異常事態となっております。その過程では自殺者まで出るという犠牲を伴い、最悪の事態にまで発展してしまいました。この7年間、度重なる不祥事が発生しながら市長以下、誰もその責任を明確にすることなく平然としている姿に多くの人が違和感を抱いています。

今や秋葉市政の下では組織が組織として機能することなく、職員全体に蔓延した閉塞感は今更なる広がりを見せており、連続する不祥事はこうした空気をもたらした結果と言えるのであります。

問題、課題が山積した現在の広島市でありますが、私は今後とも全力で「明るく、元気で魅力ある広島の実現」に向けて精進する覚悟でございますので引き続きご指導、ご支援の程宜しくお願い申し上げます。

もうすぐ鮮やかに彩られたツツジと爽やかな薫風に出会える季節がやって参ります。

皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈りし、市政報告とさせていただきます。 謹白

広島市議会議員

母谷龍典

いい汗流そう！いい笑顔つくろう！

あなたの声を聞かせてください

私が直接
ご返事します

ご意見
ご要望は
母谷たつのり
ホットライン

mokkun@cc22.ne.jp



国際会議場で開かれた選考委員会での公開プレゼンテーションの様子

どうなる!?! 新球場建設の行方

〜 迷走する広島市 〜



新球場建設問題は平成12年からかれこれ6年間に亘って議論が続いています。

当初は広島市が主導しチーム・エンティアムによる商業複合施設として建設が検討されておりましたが、長引く広島市の決断に業を煮やした米国の民間ディベロッパーであるサイモンプロパティは平成15年12月、さつさと撤退し市民の夢はあっさりとして砕け散ってしまいました。

その後『ここで新球場建設の灯を消してはならない』と起ち上がったのが広島商工会議所を中心とする経済4団体であります。

この間、紆余曲折はあったものの平成16年11月、「新球場建設促進会議」が発足し、翌年の3月末を目標にその構想を取りまとめることになりました。

そこで取りまとめられた結論の主な内容のひとつには「現在地での立替えを基本とする」となっていますが、広島市は強引に東広島駅貨物ヤード跡地を建設候補地とする方針を決定しました。郷土広島を想う地元建築家の多くは「現在地で十分立て替えられる」という意見を持っていることや当初から要望の強かった新球場建設の際には屋根架け球場をという市民の声も届きませんでした。

こうした中でも新球場建設に当たって市民やファンの皆様から寄せられた期待の表れとも言える熱き心のたる募金は1億3千万円が新球場建設基金として特別会計に組み込まれましたが、その意思は必ずしも要望通り反映されるという状況にないことが残念であります。

いずれにしても広島市は東広島駅貨物ヤード跡地でのオープン球場を2009年(平成21年)のシーズン開幕を完成目標に作業を進め、建設資金90億円を条件としたアイデアを募集したところ5つの共同企業体から提案の応募がありました。ところが今年2月になって防衛施設庁の談合事件が発覚し、1企業体が辞退、その後3月には残る4企業体のうち3企業体で代表企業が同事件に関与したとして失格になりました。

結果的に新球場設計・技術提案競技選考委

員会は1つの企業体(竹中工務店グループ)が提案したアイデアの採否を3月19日の公開プレゼンテーションで最終選考することになりました。

しかし、同日の会合では長時間に亘る検討でも結論を見出すことができず、改めて29日に再審査した結果、条件付きで最優秀賞に決まりました。

翌日、選考委員会の伊東豊雄委員長は採用理由や審査経過など秋葉忠利市長に結論を伝え報告書を手渡しました。

議会では先の定例会において「1企業体だけの提案選考では競争性がない」、「採用しない場合は完成目標時期に間に合うのか」、「県・市・経済界の資金負担はどうなるのか」、「新たな選考募集をする場合どのようにするのか」など様々な角度から私を含め多くの議員が質問致しました。

今後は新球場設計・技術提案競技選考委員会の報告を秋葉市長がどのように判断し、新球場建設に向けた道筋と結論を出すのが注目されています。また現球場跡地の有効利用も大きな問題であります。また市民等から応募のあった40件に及ぶアイデアの取り扱いや、方向性にも関心が寄せられています。

市議会

TEL.504-2443
FAX.244-1419

母谷たつりの
事務所

〒731-5114
広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号
TEL.929-9002 FAX.929-9002

E-mail mokkun@cc22.ne.jp

広島市議会ホームページ
<http://www.city.hiroshima.jp/gikai/index.html>

母谷たつりのホームページ
<http://www.motani.jp>

